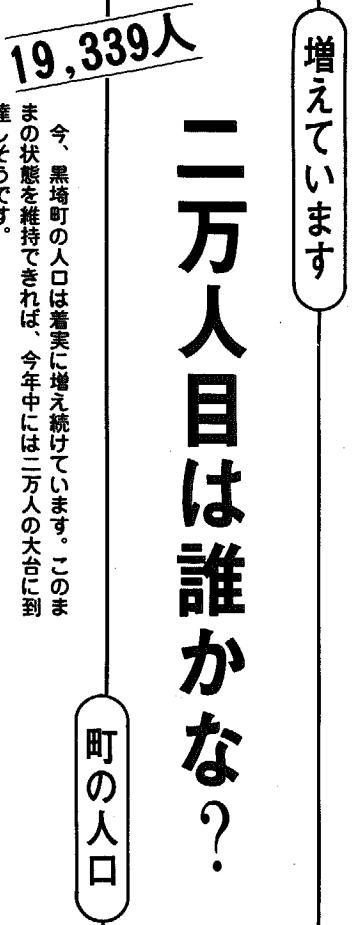


人権モデル町、五年度は種々な行事（活動）が展開され、今月で一応終了することになります。指導にあたられた多くの方々の中より特に印象に残った例として、「人権はみんなが持つもの守るもの」と七月黒崎中学校で実施された講演会で本間校長先生が生徒全員の音頭をとり、この標語を声高らかに齊唱され、生徒の心に深く浸透されたこと。もう一つは、前任の森町長さんが生徒全員の聲、住民の幸福を得られれば喜悦の次第あります。

教訓と尊いお心を新任の浅妻町長さんへ継承され、今後、益々郷土の繁榮、住民の幸福を得られれば喜悦の次第あります。

この心で町民を抱擁し、守つて道するべとしたこと。この生きた如き気高い道徳のお諭し（職員）はこの心で町民を抱擁し、守つて道するべとしたこと。この生きた

10年で四千人も増加



過去一〇年間の人口動態をみると転入九千五百〇人に対し転出七千六四二、出生二千九九二人に対し死亡一千八人、社会増一千九七八年と一二四四人となり、一三七年、自然増一千九八四人とほぼ同数の増加がみられ、一〇年間で三千九二一人も増えています。

これにより一平方キロ当りの人口密度も一〇年前の五九四人から

七七八人と一二四四人となり、一

世帯当たりの人口は四・九人から四・一人と、南部の農村部で減少して

年	人口の推移		各年12月末現在	人口動態			
	男	女		計	世帯数	一世帯当たりの人口数	1km ² 当り人口密度
42	7,761	8,188	15,949	3,253	4.9	594.2	
43	8,098	8,490	16,588	3,510	4.7	618.0	
44	8,227	8,584	16,811	3,596	4.7	626.3	
45	8,361	8,729	17,090	3,744	4.6	636.7	
46	8,525	8,863	17,388	3,881	4.5	647.8	
47	8,707	9,016	17,723	4,073	4.4	660.3	
48	8,876	9,209	18,085	4,266	4.2	673.8	
49	9,014	9,369	18,383	4,399	4.2	684.9	
50	9,265	9,606	18,871	4,562	4.1	703.1	
51	9,478	9,813	19,291	4,680	4.1	718.7	

年次	人口増	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	自然増	社会増	転入	転出
42	579	218	300	82	361	918	557
43	639	184	289	105	455	1,101	646
44	223	134	232	98	89	959	870
45	279	196	304	108	83	824	741
46	298	246	342	96	52	853	801
47	335	201	319	118	134	958	824
48	362	143	232	89	219	866	647
49	298	246	346	100	52	964	912
50	488	212	322	110	276	1,194	918
51	420	204	306	102	216	943	727
計	3,921	1,984	2,992	1,008	1,937	9,580	7,643



「人権コーナー」
生きた教訓
心を諭すもの

「人権」

我が黒崎町は、昭和五一年度に新潟地方法務局より「人権モデル町」の指定を受け、人権思想の普及に啓発活動の推進を図つて来たところであります。

町長 浅妻茂一郎

人権。ぼくは、守つてゐるだろうか。人権、なかでも老人の人権が問題である。老人をじやまの扱いにしたり老人の悪口をいつたり、趣味をとつたり、老人の人権は、守られていないことが多い。

ぼくは、老人の人権を守らなかつたことが多かつた。具体的にいえば、たくさんあって書ききれないとえは、たくさんあって書ききれないとえは、祖父がテレビを見ていたとえは、祖父がテレビを見ていたと、横からってきて、場所をとり、チャンネルを変えてマンガなどを見るのだ。こんなことは、毎日のようになつた。母や父に叱られて、いやいやながらチャンネルをもどしたことも多かつた。

今、思い出してみるとなんばかなることをしたんだろうと、自分が情けなく思ってきた。しかしあのころは、自分が悪いと思つたこともなかつた。全部、祖父が悪

いと決めていた。そして文句ばかりいっていた。だが、そうしたことをして、祖父は、怒り顔ひとつみせなかつた。時には、笑つていることもあります。しかし、ぼくは、それがたまらないやだつた。

がぼくに声をかけた。「じいちゃんは、健に悪口をいわれるのをだいぶ気にしているんだ。それでもまた悪口をいわれるのがいやだから何をいわれても黙つて立つた。しかしひがまんしてゐるんだ。よく考えろ。自殺というニュースが多い。ぼくは、ことばがでなかつた。

がない。この経験は、ぼくの一生の生活のプラスになるに違いないと思う。今は、老人のことについていろいろと問題になつてゐる。老人の自殺というニュースが多い。このころは老人に苦労させない業を実施して来ました。

この中で、将来、町を背負つてたつ青少年に期待するところの大い町内の小・中学校の皆さんかわれております。日常生活においては、がぼくに声をかけた。「じいちゃんは、健に悪口をいわれるのをだいぶ気にしているんだ。今は、老人のことについていろいろと問題になつてゐる。老人の自殺というニュースが多い。このころは老人に苦労させない業を実施して来ました。

どろが変つて行くので、その心の動きによつては感情ばかり、小さな物事、また、つまらないことで感情がもつれ、遂に摩擦が生じる事もある。一人一人が人間として幸福を追求する基本的人権を侵すこともなく一人一人が人間として幸福を追求する基本的人権の人々からも、その人権を侵されることもなく、また、他の人々の権利、自由を享有すべきものであることは申しまでありません。

とにかく人間は感情の動物とも言ふべきものである。ぼくは、それがどうあっても黙つて立つた。しかし、祖父母の心地を母から聞かせられたときだった。それは、ぼくがいつものようにテレビを見ているときだった。母

がぼくに声をかけた。「じいちゃんは、健に悪口をいわれるのをだいぶ気にしているんだ。今は、老人のことについていろいろと問題になつてゐる。老人の自殺というニュースが多い。このころは老人に苦労させない業を実施して来ました。

私は「明るく豊かな黒崎町」を建設するために、昨年度のモデル町指定を契機に、町の重点施策の一つとして、さらに五二年度も継続してまいりることいたしております。今後とも関係機関並びに各位のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。

らも人権尊重を認識して頂くためには、書道、作文等を応募いたしましたところ、優秀作品を多数出品され、多大な成果を得ましたことに対し深く感謝申し上げます。

私は「明るく豊かな黒崎町」を建設するために、昨年度のモデル町指定を契機に、町の重点施策の一

つとして、さらに五二年度も継続してまいりることいたしております。今後とも関係機関並びに各

位のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。



優良作品
老人の人の人権 白井 健一
黒崎中学校二年の四

んといつても話をすることだろう。可愛らしい孫と話をする老人の姿は、喜び、楽しみが、満ちあふれているようである。最近、聞いた話で、ひとり暮しの老人の家に電話を備えておけばいいというのである。ぼくは、その話には、両手を挙げて賛成した。いいというのである。ぼくは、その話には、両手を挙げて賛成した。いい。ひとりで、きみくなつたときや、話相手がほしいときはなどは知り合の人などに電話をかけて、話でもすれば気もやすまつてたいへんにいいことだと思う。いろいろな対策を考え行つていけるが、はやくその成果があがるよう願つてゐる。また、世の中の人たちみんなが、老人を大切にしてほしいと思う。と、同時に、ぼくも、老人をあらゆる面で手助けをしていき、老人の考え方、生きがいをよく理解し行動するようにしたい。